

平成26年度 科学研究費助成事業（特別推進研究）
追跡評価結果

研究課題名	超高速・超低消費電力バランスドフルCMOSシステムLSIの研究
研究代表者名 (所属・職)	大見 忠弘（東北大学・未来科学技術共同研究センター・教授）

【評価意見】

本特別推進研究では、シリコンCMOSの究極の高集積化・高速化を引き出すために、原子オーダーでの平坦なゲート絶縁膜/シリコン界面の実現等の新たなプロセスの提案と実証を行い、この分野の大きなブレークスルーの可能性を示した。本研究は、科学的、技術的には極めて高く評価でき、これらの成果は平成22年度～平成26年度の特別推進研究で更なる技術革新に繋がって展開されている。

研究期間終了後も海外からの講演依頼や論文の引用、そして半導体産業界への研究成果の発信にも努めており、学界、産業界への貢献は高いと判断される。

また、本特別推進研究に参画した若手研究者は、この研究を通じて各方面で中核的人材として育ちつつある。さらに、研究成果は世界的企業の技術開発や投資の方向性にも影響を与えており、社会的にも大いに貢献したと評価できる。